

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 埼玉東萌短期大学 実施報告書



実施主体 幼児保育学科 2年生有志

実施内容 平成25年10月12,13日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

ポスターを人通りの多い場所(本学および近隣施設)や地元の方が利用する本学附属図書館に掲示し、目にとまりやすいようにしました。また、チラシやしおりも図書館に置き、より多くの方に手に取ってもらいやすいようにしました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボンや虐待について要約した展示物を作り、掲示を行いました。若者の興味を引きやすい製品とオレンジリボンの自作リーフレットをセットにして販売しました。また、若者の興味を引く可愛いカードにオレンジリボンの紹介を書き配布しました。チラシやしおりを本学の文化祭である東萌祭で制作したパンフレットの中に挿み配布しました。これらのことで幅広い年代の方にオレンジリボンの存在とその必要性を知ってもらえたかと思えます。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

この運動に参加した多くの学生はピンクリボン、レッドリボンやブルーリボンの存在は知っていたものの、児童虐待防止の運動としてオレンジリボンがあることは知りませんでした。今回、この運動に参加することで、児童虐待という問題は社会全体で取り組んでいかなければ防止につながらないこと、また、課題も多いが乗り越えていかなければ、子どもの最善の利益につながらないことなど、多くのことを学ぶことができました。この運動を通して、児童虐待防止啓発月間など社会全体での運動の広がり的重要性を感じました。

これまでは、多くの学生が、自動車や洋服などについているバッチやシールにはあまり気づくことがありませんでしたが、今回の活動を通して意識するようになると、それに気づくようになり、オレンジリボン運動が確実に広まってきていることを実感しました。本学は保育者養成校です。より多くの学生に、この運動への参加を呼び掛けると同時に、近隣地域へも積極的に啓発をしていきたいと考えています。これらを通して、これからも、児童虐待の防止に少しでも貢献できるように努力していきたいと思えます。